

事務事業名	小中学校教育用パソコン管理事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	義務教育グループ	課長名 飛田博志
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	堀江 亮次	電話番号:0854-40-1072 (内線) 2283
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。		
	基本事業	〈076〉すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進		予算科目	0:15:0:0:1 -1:0:0:1	大事業名 小(中)学校教育振興総務管理事業 中事業名 小(中)学校教育振興総務管理事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習意欲が高まる。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童生徒・教職員	①情報活用能力の向上 ②確かな学力の育成 ③教職員のICT指導力の向上
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	市内小中学校の教育用ネットワーク機器整備・保守管理・校務用パソコンの整備
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①教育用ネットワーク機器の保守管理 ②市内小中学校 パソコン保守管理・修理 ③リース料支払 ④ソフトウェア契約	教育用ネットワーク機器のサーバの集約・更新を実施し、セキュリティを確保しながら、各校でも運用がしやすい環境を整備。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 校内LAN整備率	%	100.0	100.0	100.0	100.0
イ 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	人	7	4	1	1
ウ 校務用コンピュータ整備率	%	100.0	100.0	100.0	100.0
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
消耗品費	1,424千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
修繕費	4,288千円		県支出金	千円				
手数料	1,313千円		地方債	千円				
委託料	5,847千円		その他	千円				
使用料及び賃借料	126,227千円		一般財源	千円	95,511	113,469	136,099	135,281
計	136,609千円		事業費計	千円	95,511	113,469	136,099	135,281

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	市内小中学校のICT環境の整備 ①教育用ネットワークの環境の充実(セキュリティ確保・保守管理等リモートアクセス環境整備・教職員のテレワーク環境整備) ②1人1台タブレット環境に対応した環境の整備 ③統合型校務支援システムの整備により、教員の負担軽減 などが図られた。
② 事業実施するうえでの課題	情報セキュリティの高度化・複雑化など求められ水準の高まりに的確に対応していくためには、環境整備にかかる予算はもとより、人的体制も不足している状況にある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	①ランニングコスト削減を図るため、オンプレ運用からセキュアなクラウド運用の検討 ②校務・学習系に分離した環境の再統合を含めた、次期更新への検討 ③教職員への研修(専任指導主事等の配置)